



# 明日の青梅のために！！

## 青梅市議会議員

# 島崎 実 活動報告

令和3年1月15日発行

島崎 実 事務所  
〒198-0063  
青梅市梅郷6-1511  
TEL 0428-76-0358  
E-Mail info@minoru-kai.com

新年明けましておめでとうございます。旧年中は様々にご支援・ご協力を頂き、誠に有り難うございました。昨年はコロナ禍により、従来とは全く異なる生活を強いられる1年となりました。再度の緊急事態宣言が発令される厳しい状況ですが、本年はワクチン接種も始まります。引き続き一人一人の自覚を高め、皆が一致協力することで、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう。私は、本年も山積する市政の課題に全力で取り組みます。更なるご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

### ◎「学校給食センターの建て替え計画」について

青梅市には、根ヶ布調理場（昭和46年開始）と藤橋調理場（昭和57年開始）の2給食センターがありますが、児童・生徒の減少と老朽化のため、令和元年根ヶ布調理場は休止し、藤橋調理場のみで、小・中学校の給食を賅っています。但し、藤橋調理場も老朽化が著しいため、根ヶ布調理場に一本化する新たな建設計画を検討しています。先般、先進事例の東大和市給食センターを視察しました。



休止した根ヶ布調理場の現状



藤橋調理場の調理状況



東大和市給食センター、調理場内の様子



残渣処理施設



配送車

◎東大和市給食センターは平成29年開設で、1階は荷受け等、2階が調理場で汚染区域と非汚染区域が明確に分けられ、アレルギー対応調理室も完備しています。この視察も参考にして、検討を深めてまいります。なお、基本計画では使用開始を令和5年9月、総事業費135億円余を想定しています。計画では、令和3年9月までに庁内調整を完了し、事業契約を締結する予定です。

◎「奥多摩橋の欄干の嵩上げについて」・・・前回の活動報告（N022）にて、近々工事に着手すると記載しましたが、奥多摩橋は特殊な形態になっているため、部材の製作に数か月の時間を要するとのことです。このため、工事の着手・完成は令和3年度になるとの連絡がありました。

### 「12月議会報告」

- 12月議会は11月30日に招集され、30日・12月1・2日に一般質問。4・7日に常任委員会、8日に補正予算審査後全員協議会を開催し、15日の本会議で市長提出議案を全て可決し終了しました。
- 「令和2年度一般会計補正予算（10号）」について  
都支出金の1億円、寄付金4千万円を含む、4億8百万円を計上。主な使い道は、介護・障害福祉等に携わる職員のPCR検査費用6千万円、市立総合病院への補助金・負担金1億77百万円、中小企業振興資金58百万円などとなります。
- 「全員協議会」・・・下記の6項目が市長提出事項です。
  - (1) 令和3年青梅市消防団出初式・・・一般観覧なしで実施予定も、感染防止から中止としました。
  - (2) 瑞穂町公共下水道長岡1号線に関する覚書の締結について
  - (3) 「青梅市における福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」の見直しの考え方について
  - (4) 青梅市学校施設個別計画（案）の策定について・・・学校施設の老朽化と人口減少による児童生徒減を見据えた長期計画となります。

- (5) 令和3年青梅市成人式について・・・2部に分けて実施予定も、感染防止から中止としました。  
 (6) 成人年齢引き下げに伴う成人式のあり方・・・「20歳を祝う会」等の名称で実施を検討します。

4、「総合病院新病院建設工事の入札結果について」・・・総事業費275億円の内、建物部分175億円の入札が前回不調に終わったことから、①入札参加資格を緩和し、②入札を2期に分けて実施した1期工事の入札。予定価格160億86百万円に対し、144億77百万円で清水建設（株）が落札しました。病院建設工事は既に着手しております。引き続き、計画の進捗をチェックしてまいります。

### 5、「一般質問」

今回の一般質問は、①「ケミコン跡地に計画される、新市民ホールについて（建築費、ランニングコストを考察して）」及び、②「青梅市吉川英治記念館の入館状況と今後について」の2項目を質問しました。①新市民ホールについては、広く市民の意見を聞くため、一般市民委員を含む懇談会が組成される予定ですが、一方、ホールに関する金額面の議論は、今までなされて来ませんでした。そこで、特別委員会の報告、及び、舞台専門家・一級建築士等の意見を参考に、私なりの試算を作り、それを基に質問しました。

「ケミコン跡地に計画される新市民ホールについて（建築費、ランニングコストを考察して）」

(私の質問)	(市長の答弁)
(1) 私の計算では建築費が25億～30億円、ランニングコストが年間約6千万円となりますが、どのように受け止められましたか伺います。	(1) ご提示頂いた試算は、専門家の知見を踏まえた考えであり、示唆に富むものと考えております。なお、修繕料等の考慮も必要と捉えております。
(2) 懇談会の有識者メンバーに、建築・舞台・音楽等の専門家を入れるべきと思いますが、どのように選ばれるのか伺います。	(2) 幅広い分野から選出できるよう取り組んでおりますが、建築などの専門家についても、留意して進めてまいります。
(3) 平土間式ホールに移動客席を設置する案を軸に検討が進められておりますが、固定客席のホールも、引き続き選択肢の一つとして検討を望みます。この点について答弁を頂きたい。	(3) アンケート調査では、「多機能型ホール」が最も多い支持を得、次いで、「固定席の劇場型ホール」となっております。懇談会に提示し、委員間で共有し、会議を進めます。
(4) 資金計画を立てると、私の計算に近い厳しい数字が予想されます。これを市民にどのように報告していくのか伺います。	(4) 市では、本事業の検討状況について、これまでも市議会に報告して来ました。今後も、市民や市議会に、適時報告してまいります。
(5) 新市民ホールは30年・50年先の青梅市を見据えたものにしなければなりません。そのためには、様々な市民の意見、専門家の知見を集めて議論すべきと考えますが、見解を伺います。	(5) 将来、多くの方々から、「本当にあって良かった」と思っていただけのように、市民の意見や市議会の指摘などを真摯に受け止め、検討を重ねてまいります。

「青梅市吉川英治記念館の入館状況と今後について」

(私の質問)	(教育長の答弁)
(1) 開館以来今日まで（9月～11月）の、来館者数と収入について、また計画との差異について伺います。	(1) 9月～11月まで、来館者は計3,489人。収入は166万円余となっております。コロナの影響等で集客が伸び悩んでいると、捉えています。
(2) 来館者増加に向けての取り組みの実績と今後計画している施策について伺います。	(2) 各種広告の作成等は実施しましたが、主屋を利用してのイベント等は、感染防止のため実施を見送っている状況です。
(3) 土産物の充実も重要と考えます。また、御朱印・御城印を展示物の入れ替えに際し、発行したらどうかと考えますが答弁を願います。	(3) オリジナルグッズを新たに開発する検討をしております。御城印については、二俣尾の辛垣城の御城印を作成予定です。
(4) 地元との協力も重要と考えます。また、近隣観光地・施設との連携について伺います。	(4) 地元の方々と定期的に意見交換会を実施します。また、地域を周遊する仕組みを作り、誘客につなげたいと考えております。
(5) 立派な記念館となり評価は高いと認識しております。記念館を市民文化・観光振興の拠点として運営して行く決意を伺います。	(5) 観光振興に資する施設として様々な事業を実施します。また、貴重な資料を活かし、広く市民の教養および文化の向上に寄与する施設となるよう積極的な運営に努めてまいります。